

自分だけのサクセスストーリー

部活動、研究活動、学園祭で教室指導部長...と多忙を極めていた5年生は一瞬で過ぎ去り、気付けば私は6年生になっていた。そして待ち受けていたのは大学受験。第一志望は大阪大学。

推薦入試を受けようと思ったのは6年の春。研究活動を通して化学の面白さとその可能性に触れ、化学をより深く学びたいという思いが強まった。阪大工学部を目指すに至った私のストーリーを阪大に伝えたかった。しかし覚悟

はしていたものの、推薦入試と一般入試の対策の同時進行は本当にきつかった。受験の天王山とも言われる夏休み、周りが勉強に励む中で志望理由書と研究報告書を作る必要があった。だからこそ少しの時間でも必死に勉強した。5年でもっと勉強しておけばよかったとは思ったが、部活や研究、教室指導部長をしなければよかったとは全く思わなかった。むしろそれらは私のアピールポイント「新しいことに対するチャレンジ精神」の証明であり、受験勉強に必要な自己分析能力や忍耐力の向上

にもつながっていたからだ。奈良女だったからこそ私は合格できたのだと思う。

最後にこれから受験を控える後輩たちへ。努力は必ずしも報われる訳ではない。だけど努力することで合格の可能性が上がることに間違いない。ならば合格に向かって突き進むしかないだろう。模試の成績、志望校、勉強方法など他人と比べて不安や焦りを感じてしまいかもしれない。でも大丈夫。推薦入試で合格、一般入試で合格、E 判定からの逆転合格...サクセスストーリーは

人それぞれだ。自分を信じて頑張る人
に道は開ける。